

全国学力・学習状況調査について

1. 調査の目的

- 国が、義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- 各教育委員会、学校等が、全国的な状況との関係において自らの教育及び教育施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- 各学校が、各児童生徒の学力や学習状況を把握し、児童生徒への教育指導や学習状況の改善等に役立てる。
- 児童生徒一人ひとりが、自らの学習到達状況を正しく理解することにより、自らの学力や生活に目標を持ち、また、それらの向上への意欲を高める。

2. 調査実施日

令和4年4月19日（火）

3. 調査の対象

泉佐野市立佐野台小学校 第6学年，全児童

実施児童数（ 23 人）

4. 調査の内容

(1) 学力に関する調査

ア 教科は、国語、算数・数学及び理科。

イ 出題範囲は、調査する学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とし、出題内容は、それぞれの教科に関し、以下のとおりとする。

①身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等

②知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等

ウ 調査問題では、上記①と②を一体的に問うこととし、出題形式については、記述式の問題を一定割合で導入する。

(2) 学習状況に関する調査

調査する学年の児童生徒を対象に、学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問紙調査を実施する。

(3) 学校の取組みに関する調査

調査対象の児童生徒が在籍する学校を対象に、学校における指導方法に関する取組や学校における人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する質問紙調査を実施する。

※平成29年度より、文部科学省から示される都道府県の平均正答率及び市町村の平均正答率は、整数となっております。

令和4年度全国学力・学習状況調査の分析（国語）

1. 全体の傾向

- ・平均正答数の全体的な分布状況は、全国と比べて中～上位層がやや多く、下位層がやや少ない。
平均正答率（本校 70／泉佐野市 62／大阪府 64／全国 65.6）

2. 学力状況調査より（本校正答率/全国正答率）

国語	特徴がみられた設問
<p>【書くこと】 ○文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けることに課題がある。</p> <p>3二【伝え合いの様子の一部】を基に、【文章2】のよさを書く (30.4/37.7)</p> <p>【読むこと】 ○人物像や物語の全体像を具体的に想像することが概ねできている。</p> <p>2二物語から伝わってくることを考え、【森田さんの文章】の <input type="text" value="A"/> に入る内容を書く (78.3/68.3)</p> <p>○登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉えることに課題がある。</p> <p>2一（1）「ぼく」の気持ちの説明として適切なものを選択する (56.5/68.4)</p>	<p>【言葉の特徴や使い方に関する事項】 ○話し言葉と書き言葉の違いを理解することが概ねできている。</p> <p>1一【話し合いの様子の一部】における谷原さんの発言の理由として適切なものを選択する (87.0/85.5)</p> <p>○言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることを捉えることが概ねできている。</p> <p>1二【話し合いの様子の一部】における谷原さんや中村さんの発言の理由として適切なものを選択する (82.6/68.8)</p> <p>○学年別漢字配当表に示されている漢字を文中で正しく使うことに課題がある。</p> <p>3三ア【文章2】の中の _____ 部アを、漢字を使って書き直す（<u>ろくが</u>） (56.5/65.2)</p> <p>○学年別漢字配当表に示されている漢字を文中で正しく使うことが概ねできている。</p> <p>3三ウ【文章2】の中の _____ 部ウを、漢字を使って書き直す（<u>したしむ</u>） (78.3/67.1)</p> <p>【我が国の言語文化に関する事項】 ○漢字や仮名の大きさ、配列に注意して書くことが概ねできている。</p> <p>3四（一）から（二）に書き直した際、気を付けた内容として適切なものを選択する (91.3/77.9)</p>

3. 学習状況調査より

質 問 項 目	本校	全国	10%○ 5%◇	差
国語の勉強は好きですか	82.6	59.2	○	23.4
国語の勉強は大切だと思いますか	95.7	93.3		2.4
国語の授業の内容はよく分かりますか	100	91.8	◇	8.2
国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	91.3	91.8		0.5
今回の国語の問題では、解答を文章で書く問題がありました。それらの問題について、どのように解答しましたか。	78.3	78.0		0.3
解答時間は十分でしたか（45分）	65.2	66.0		0.8

- 「国語の勉強は好きですか」児童の割合は全国と比べて高い
- 「国語の授業の内容はよく分かりますか」児童の割合は全国と比べて高い。
- 話の中心を捉えながら聞くことに課題がある。
- 友達の意見を踏まえて、自分の意見を書くことに課題がある。
- 条件に合わせて文章を書くことに課題がある。
- 人物像や物語の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えることはできるが、登場人物の気持ちや相互関係について、叙述や描写を基に捉えることに課題がある。

令和4年度全国学力・学習状況調査の分析（算数）

1. 全体の傾向

- ・平均正答数の全体的な分布状況は、全国と比べて中～上位層がやや多く、下位層がやや少ない。

平均正答率（本校 65／泉佐野市 61／大阪府 63／全国 63.2）

2. 学力状況調査より（本校正答率／全国正答率）

算数	特徴がみられた設問
<p>【数と計算】</p> <p>○被乗数に空位のある整数の乗法の計算をすることが概ねできている。</p> <p>1（1）1050×4を計算する (100/92.4)</p> <p>○二つの数の最小公倍数を求めることに課題がある。</p> <p>1（2）14と21の最小公倍数を求める (52.2/72.2)</p> <p>○加法と乗法の混合したポイント数の求め方を解釈し、ほかの場合のポイント数の求め方と答えを記述することが概ねできている。</p> <p>3（4）1年生の希望をよりかなえるためのポイント数の求め方と答えを書く (82.6/67.7)</p>	<p>【図形】</p> <p>○図形を構成する要素に着目して、長方形の意味や性質、構成の仕方について理解することが概ねできている。</p> <p>4（2）長方形のプログラムについて、向かい合う辺の長さを書く (91.3/83.2)</p> <p>○示された作図の手順を基に、図形を構成する要素に着目し、平行四辺形であることを判断することに課題がある。</p> <p>4（4）示されたプログラムでかくことができる図形を選ぶ (34.8/57.6)</p> <p>【変化と関係】</p> <p>○示された場面のように、数量が変わっても割合は変わらないことを理解することに課題がある。</p> <p>2（3）果汁が含まれている飲み物の量を半分にしたときの、果汁の割合について正しいものを選ぶ (21.7/21.4)</p> <p>【データの活用】</p> <p>○分類整理されたデータを基に、目的に応じてデータの特徴を捉え考察することが概ねできている。</p> <p>3（2）分類整理されたデータから、全員の希望が一つは通るように、遊びを選ぶ。 (82.6/63.9)</p>

3. 学習状況調査より

質 問 項 目	本校	全国	10%○ 5%◇	差
算数の勉強は好きですか	56.5	62.5	◇	6.0
算数の勉強は大切だと思いますか	86.9	94.2	◇	7.3
算数の授業の内容はよくわかりますか	78.3	81.2		2.9
算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	87.0	93.3	◇	6.3
算数の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考えますか	65.2	69.3		4.1
算数の問題の解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考えますか	69.5	80.4	○	10.9
算数の問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考えますか	73.9	76.8		2.9
算数の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしていますか	78.3	85.7	◇	7.4
今回の算数の問題では、言葉や数、式を使って、わけや求め方などを書く問題がありました。それらの問題について、どのように解答しましたか	78.3	82.8		4.5
解答時間は十分でしたか（45分）	82.6	83.4		0.8

- 「算数の勉強は好きですか」児童の割合は全国と比べて低い。
- 「算数の問題の解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考えますか」児童の割合は全国と比べて低い。
- 「算数の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしていますか」児童の割合は全国と比べて低い。
- 算数を理解し、生活にいかそうとする児童が少ない。
- 無解答率は低い。

令和4年度全国学力・学習状況調査の分析（理科）

1. 全体の傾向

- ・平均正答数の全体的な分布状況は、全国と比べて中～上位層がやや多く、下位層がやや少ない。

平均正答率（本校 64／泉佐野市 58／大阪府 60／全国 63.3）

2. 学力状況調査より（本校正答率／全国正答率）

理科	特徴がみられた設問
<p>【「エネルギー」を柱とする領域】 ○日光は直進することを理解することに課題がある。</p> <p>3（1）光の性質を基に、鏡を操作して、指定した的に反射させた日光を当てることができる人を選ぶ (34.8/27.8)</p> <p>○実験で得た結果を、問題の視点で分析して、解釈し、自分の考えをもち、その内容を記述することに課題がある。</p> <p>3（4）問題に対するまとめから、その根拠を実験の結果を基にして書く (17.4/35.1)</p> <p>【「粒子」を柱とする領域】 ○メスシリンダーの正しい扱い方を身に付けることが概ねできている。</p> <p>2（2）水50mLをはかり取る際に、メスシリンダーに入れた水の量を正しく読み取り、さらにスポイトで加える水の量を選ぶ (95.7/70.0)</p> <p>○自然の事物・現象から得た情報を、他者の気付きの視点で分析して、解釈し、自分の考えをもち、その内容を記述することに課題がある。</p> <p>2（4）凍った水溶液について、試してみたいことを基に、見いだされた問題を書く (34.8/39.3)</p>	<p>【「生命」を柱とする領域】 ○問題を解決するために必要な観察の視点を基に、問題を解決するまでの道筋を構想し、自分の考えをもつことが概ねできている。</p> <p>1（1）見いだされた問題を基に、観察の記録が誰のものであるかを選ぶ (95.7/92.9)</p> <p>○自分の行った観察で収集した情報と追加された情報を基に、問題に対するまとめを検討して、改善し、自分の考えをもち、その内容を記述することが概ねできている。</p> <p>1（2）自分の観察の記録と新たに追加された他者の観察の記録を基に、問題に対するまとめを見直して書く (78.3/67.5)</p> <p>○観察などで得た結果を、他者の気付きの視点で分析して、解釈し、自分の考えをもつことが概ねできている。</p> <p>1（5）育ち方と主な食べ物の二次元の表から気付いたことを基に、昆虫の食べ物に関する問題を見いだして選ぶ (73.9/65.5)</p> <p>【「エネルギー」を柱とする領域・「地球」を柱とする領域】 ○自分で発想した実験の方法と、追加された情報を基に、実験の方法を検討して、改善し、自分の考えをもつことに課題がある。</p> <p>3（3）鏡ではね返した日光の位置が変化していることを基に、継続して同じ条件で実験を行うために、実験の方法を見直し、新たに追加した手順を書く (56.5/68.9)</p>

3. 学習状況調査より

質 問 項 目	本校	全国	10%○ 5%◇	差
理科の勉強は好きですか	73.9	79.7	◇	5.8
理科の勉強は大切だと思いますか	73.9	86.5	○	12.6
理科の授業の内容はよく分かりますか	100	88.5	○	11.5
理科の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考えますか	60.8	67.9	◇	7.1
理科の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	69.5	77.2	◇	7.7
将来、理科や科学技術に関係する職業に就きたいと思いますか	30.4	26.6		3.8
理科の授業では、自分の予想をもとに観察や実験の計画を立てていますか	78.3	78		0.3
理科の授業で、観察や実験の結果から、どのようなことが分かったのか考えていますか	82.6	84.9		2.3
理科の授業で、観察や実験の進め方や考え方が間違っていないかを振り返って考えていますか	78.2	72.2	◇	6.0
今回の理科の問題では、解答を文章などで書く問題がありました。それらの問題について、どのように解答しましたか	82.6	80.6		2.0
解答時間は十分でしたか（45分）	95.7	90.8		4.9

- 「理科の勉強は大切だと思いますか」児童の割合は全国と比べて低い。
- 「理科の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考えますか」児童の割合は全国と比べて低い。
- 「理科の授業の内容はよく分かりますか」児童の割合は全国と比べて高い。
- 新たに追加された記録をもとに、問題に対するまとめを見直して文章にすることができている。
- 実験の結果を分析して解釈し、自分の考えをもって記述する力に課題がある。

令和4年度全国学力・学習状況調査の分析（児童質問紙より）

本校の子どもたちの意識調査を、質問に対して4択で選ぶものは、選択肢1、2と3、4はそれぞれ同じ傾向と捉える。（例えば、1. 当てはまる 2. どちらかといえば、当てはまる 3. どちらかといえば、当てはまらない 4. 当てはまらない）

また、それ以外の質問は特徴的な事柄を取り出し、それらを全国と比較している。

下記の表には全国と比較して5%以上差のあるものの中で、特徴的な項目を列挙した。さらに、下線部に関しては10%以上の差のあるものを示している。

設問内容種類別の全国との比較で差が大きく特徴のある項目

設問内容種別	本校の状況	本校 < 本校回答率 / 全国回答率 >
【家庭生活・学習の子】	<ul style="list-style-type: none"> ・規則正しい生活をできている児童が多い。 ・家での学習時間は、多い児童と少ない児童の差が大きい。 ・積極的に地域の活動に参加している児童が多い。 	<p>○毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか <86.9/81.5></p> <p>○1日当たりどのくらいの時間、勉強しますか (2時間以上) (30分以下) <34.8/25.1> <8.6/14.7></p> <p>○<u>今住んでいる地域の行事に参加していますか</u> <78.2/52.7></p>
【学校生活の様子】	<ul style="list-style-type: none"> ・最後までやりぬくことができない児童が多い。 ・難しいこと、苦手なことなどに挑戦することができない児童が多い。 ・他人に対する関心が高い傾向にある。 	<p>○<u>自分でやると決めたことは、やり遂げるようにしていますか</u> <65.2/87.2></p> <p>○<u>難しいことでも、失敗を恐れないで挑戦していますか</u> <47.8/72.5></p> <p>○人が困っているときは、進んで助けていますか <95.7/88.9></p> <p>○いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか <100/96.8></p>
【学校での学習の様子】	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えがうまく伝わるように自分で調べたり、工夫したりするなど自ら積極的に学習に臨む姿勢が見られる児童が多い。 ・学級での話し合いを自分自身に生かすことのできる児童が多い。 	<p>○<u>自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか</u> <86.9/73.5></p> <p>○<u>5年生までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか</u> <82.6/65.4></p> <p>○<u>あなたの学級では、学校生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか</u> <91.3/73.5></p> <p>○学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいますか <82.6/73.8></p>

本校の取組

◎これまでの取組

①学習面

◇学習規律の確立「佐野台小学校学習の5ヶ条」(R2年度改訂)

- ・チャイム着席を心がける。休み時間に、次の学習の用意をする。

教師や児童が意識して取り組んでいる為、授業時間が確保され、授業内容がよくわかるにつながった。

- ・話し方、聞き方、返答の仕方について。物を大切にする。「聞き方あいうえお」

◇学力向上の時間〈朝学(朝の会終了後の10分間)〉

〈朝学〉 国語と算数の既習学習の定着をめざした学習

- ・週に1度、「読む」「書く」力をつけるために、力だめしプリントを活用する。長い文章問題にも取り組む。

◇佐野台タイム

- ・4, 5, 6年生に各3~4名の教師で基礎基本を中心に指導し、年間を通して計画的に実施する。

◇家庭学習の徹底「家スタ」(R1年度改訂)

- ・宿題とは別で2年10分, 中学年20分, 高学年30分を目標に, 自ら課題を見つけ家庭学習に取り組む。

◇読書

- ・図書での読み聞かせを実施する。・本の貸し出しの多い子を表彰し, しおりを配付する。
- ・図書担当と司書とで連携をして, 子どもたちの意欲が高まる書籍の選定, 購入を行う。

◇運動「UPタイム」

- ・月, 火, 木, 金の2限と3限の間の15分間(ドッチビー, スキップ, 大縄, ドッチボール, 鬼ごっこ等) 全学年で体を動かす時間を設け, 学力と共に体力向上を目指す。

②生活面

◇生活習慣の調査, 家庭との連携

- ・生活習慣の調査を行い, 子どもたちの朝食摂取や睡眠時間, テレビ等視聴時間を把握する。
- ・家庭との連絡を取りながら, 食育や生活習慣改善の協力を求める。

◎これからの取組

①学習面

◇学習規律の確立

- ・児童朝礼での啓発を行い, 学習規律の徹底を引き続き図り, 落ち着いて学習に取り組ませる。
- ・めあてを具体的にすることで授業の目的を明確にし, 自分の考えを広げられるように取り組ませる。

◇学力向上の時間

- ・引き続き, 朝学の10分間を基礎基本の定着を図るための時間として実施し, 時間設定も明確にする。

◇佐野台タイム

- ・引き続き, 年間を通して取り組み, 複数指導者での指導体制を活かして, 基礎基本の定着を図る。

◇家庭学習の徹底「家スタ」「日記」

- ・家スタノートを活用して, 家庭で集中して学習に取り組むように指導を続ける。めあてを自ら考えて設定したり, 週に数回にし, テスト前のまとめや苦手克服したりするための活用にする。
- ・学年に応じて, テーマを決めて日記を宿題に出し, 自分の思いを書けるようにする。

◇読書

- ・様々な本との出会いの中で, 語彙力や表現力の幅を増やしていけるように, 市立(府立)図書館からの貸し出しなども利用して読書活動を充実させていく。

◇運動「UPタイム」

- ・取組みを続け, 授業への集中力を高められるようにするとともに, 規律ある行動ができるようにする。

②生活面

◇生活習慣の調査, 家庭との連携

- ・生活習慣調査の結果をもとに, 家庭と協力しながら子どもの生活改善にあたる。特に, 睡眠時間, テレビやゲーム・携帯電話等の使用時間などの生活習慣改善の協力が得られるようにする。